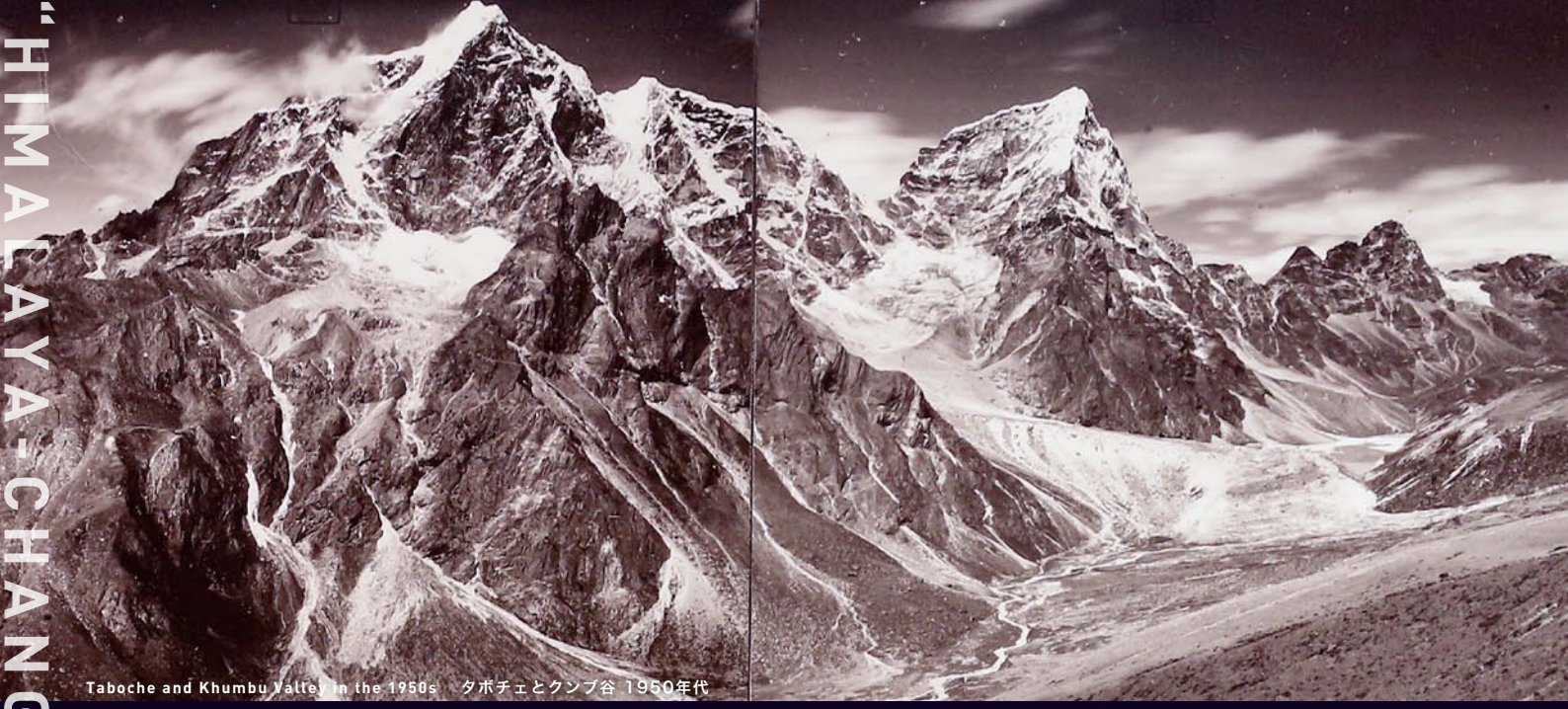
"HIMALAYA-CHANGING LANDSCAPES" PHOTO EXHIBITION



Taboche and Khumbu Valley in the 1950s　タボチェとクンブ谷 1950年代

ヒマラヤ－変わり行く景観写真展

平成27年 11月21日[土] － 平成28年 5月29日[日]

開 館 9時－17時（水曜・年末年始休館）
入館料のみ　大人（中学生以上）500円　小人(小学生) 250円

Taboche and Khumbu Valley in the 2007　タボチェとクンブ谷 2007年

ヒマラヤ世界の変化を訴求

この写真展の目的は、この「世界の屋根」が受けている地球規模の変動、中でも気候変動の重大な衝撃について世界に注目してもらうことである。この地域はアジアの10の大河川（アムダリヤ、インダス、ガンジス、ブラマプトラ、イラワジ、サルウィン、メコン、揚子江、黄河、タリム）の源流であり、13億人に水を供給している。日本にとってもモンスーンの影響を受けるなど自然や文化の面で関連の深い地域であり、この地域の変動に無関心ではいられない。

この写真展示は、ICIMOD（The International Centre for Integrated Mountain Development）が創立25年の記念キャンペーンとして、ヒマラヤの自然と住民の暮らしの変化するありさまを訴求しようと企画した写真展である。エベレストベースキャンプを皮切りにヨーロッパの数都市やカトマンズなどで実施され、国内ではHAT-J（日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト）が東京、横浜はじめ全国10か所で実施した。

ICIMOD

ICIMODはヒマラヤ、ヒンズークシュ山系が属する8カ国（アフガニスタン、パキスタン、インド、ネパール、中国、ブータン、バングラデシュ、ミャンマー）による地域の研究開発センターで、1983年創設、本部はネパールのカトマンズである。山岳地域の住民の生活水準の向上とともに健全な山岳の生態系を維持し、経済発展と環境保護を支援することを目的に掲げている。

HAT-J

HAT-Jはエドモンド・ヒラリー卿の呼びかけで、山岳環境保護を目的に国内の代表的な4つの山岳団体－日本山岳協会、日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、日本ヒマラヤ協会－によって、1991年に設立されたNPOである。

パネル協力＝野田憲一郎（日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト）

南アルプス市芦安山岳館

山梨県南アルプス市芦安芦倉1570　☎055-288-2125
ホームページ　http://www.minamialps-net.jp

主　催＝南アルプス市　　山梨日日新聞社　山梨放送

MINAMI-ALPS BIOSPHERE RESERVE
南アルプス
ユネスコエコパーク